

令和3年度に北九州市立中学校等で使用する教科用図書の採択について

令和2年8月6日教育委員会会議において、令和3年度に北九州市立中学校等で使用する教科用図書を次のとおり採択しました。

1 令和3年度使用中学校用教科用図書

種 目	発 行 者
国 語	光村図書出版
書 写	教育出版
社会（地理的分野）	帝国書院
社会（歴史的分野）	日本文教出版
社会（公民的分野）	教育出版
地 図	帝国書院
数 学	新興出版社啓林館
理 科	大日本図書
音楽（一般）	教育芸術社
音楽（器楽合奏）	教育芸術社
美 術	光村図書出版
保健体育	学研教育みらい
技術・家庭（技術分野）	開隆堂出版
技術・家庭（家庭分野）	東京書籍
英 語	光村図書出版
道 徳	日本文教出版

2 採択理由

種目【 国語 】（ 光村図書出版 ）

- 「読むこと」の教材のあとの「学習」では、「見通しをもつ」「とらえる」「読み深める」「考えをもつ」「振り返る」の5つの段階が示され、見通しをもって主体的に学習に取り組むことができる。
- 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」では、学習の流れが見開き1ページで示されているため、どのような活動を行いながら学習を進めていくのかが明確であり、活動を通して、自分の考えを形成できる。
- 「読むこと」の教材の後に、「書くこと」の教材が関連をもたせて配置されており、「読むこと」で身に付けた力を「書くこと」の力を付けることにスムーズにつなげ、思考力や表現力を高める学習ができる。
- 「書くこと」については、情報を整理したり構成を考えたりする過程で、思考ツールや図表を使って情報を整理する方法が学べる。これによって、思考を整理し、適切に表現する力を高められる。

種目【 書写 】（ 教育出版 ）

- 巻頭で「書写を通して学んでいくこと」を示し、生徒が書写のねらいを把握し、見通しをもって学習できるよう工夫されている。また、相手意識、目的意識をもって文字を書くことを意識づけるため、「目的に合わせて書こう」で生徒に分かりやすく示している。
- 書写の学習においては、各教科等の学習活動や日常生活に生かすことのできる書写の能力を育成することが重要となる。書写の能力が生活の中の様々な場面で生きていることを生徒が実感するため、各教科の書く活動と連動させている。また、「詩や短歌、俳句を書く時のポイント」が示されており、生徒が作品を作る際には、教師が専門的な指導ができる工夫がある。
- 「学習の進め方」で示されているように、毛筆が硬筆の能力の基礎を養うという根幹が押さえられている。また、生徒が主体的に学ぶために、学習手順を明確にするとともに、話し合い活動で用いる学習用語を例示することで、書写用語を使って考えを伝え合い、学習を深める配慮がなされている。
- 生徒が自分の考えを書く欄があることや「考えよう」で速く書くことのできるポイントを確認できることなど、生徒が学習時に学んだことや考えたことを記録として残すことができるので、教科書がノートの役割も兼ねる仕様となっている。

種目【 社会（地理的分野） 】（ 帝国書院 ）

- 「節の問い」や学習課題を設け、生徒が問題解決的な学習の見通しをもつとともに、「確認しよう」「説明しよう」や「節の学習を振り返ろう」で学習を振り返ることができる。
- 地理的分野の学習の中心となる、諸地域の学習では、章の冒頭に「序説」を設け、学習の内容や方法を概観することができるとともに、単元を貫く学習問題は、必ず「地域にどのような影響を与えたか」という形で掲載されており、生徒が授業で何を考えるかを明確にでき、主体的な学習につながる。
- 掲載される資料については、写真や統計、グラフ等の多様で効果的な資料が多く、教師が関連付けて活用することにより、生徒の多面的・多角的な思考を促すための効果的な指導ができるようになっている。
- SDGsと関連させた内容や環境・防災・共生を主題とする教材を豊富に取り扱っており、これからの社会の在り方について生徒が主体的に考えられるものになっている。

種目【 社会（歴史的分野） 】（ 日本文教出版 ）

- 1時間ごとに「歴史的な見方・考え方」を設定し、その中に、「差異」「比較」等の考える視点を提示することで、歴史的な見方・考え方を働かせた課題解決的な学習を、毎時間展開できるように構成されている。
- 時代の特色や時代の移り変わりを重点的に取り上げ、大きな歴史の流れをとらえさせるために、時代の転換を表す歴史的事象を具体的に取り上げて考察させる「アクティビティ」というトピックを設けている。
- 「地域を調べよう」では、北九州市の公害克服の取組について2ページに渡って掲載されている。これはSDGsの視点を踏まえたシビックプライドの醸成にも有効である。

種目【 社会（公民的分野） 】（ 教育出版 ）

- SDGsの17の目標を掲載し、個人や社会の様々な「つながり」に目を向けることの大切さを小学校社会科や中学校社会科の他分野等と関連付けて、学ぶことができる。また、ページの下部にSDGsの視点が示され、毎時間、現代社会における諸課題を把握し、「SDGs未来都市」を形成する市民を育むことに資する内容となっている。
- 各章の初めに、図やイラストで学習の見通しを示している。単元の問題を提示し、学習する事柄の価値付けを行っている。
- 各單元には、「見×考のマーク」で見方・考え方を働かせる問いが設定されており、多角的・多面的に考察する力や公正に判断する力等が段階的に養われる構成になっている。
- SDGsの他にも、LGBT、感染症等の最新の課題、社会的事象、事柄を取り上げ、広い視野をもち、国際的な関わりや個人と社会との関わりへの理解を深めながら、生徒が調べてまとめる技能を身に付けられるような工夫が施されている。

種目【 地図 】（ 帝国書院 ）

- 「社会的な見方・考え方」を働かせることができる「地図活用」の設問が数多く掲載されている。また、二次元コードから、学習動画サイト等へリンクすることで生徒が主体的に調べ、まとめる技能を身に付けられるようになっている。
- 地域ごとの防災に関する資料や世界と日本の資料を比較して掲載することで、地形図を基に考える等、資料を細かく読み取り、まとめる技能が身に付くように編集されている。
- 「統計資料」では、見やすい字体を使い、濃淡を付けて表示しているので、国ごとの並びが分かりやすい。また、統計の上位や下位の国には色別の表示があり、調べやすい工夫がされている。
- タイトル等は決まった位置にあり、陸高と水深の表示がどのページにも示してあるため、活用しやすい。

種目【 数学 】(新興出版社啓林館)

- 各章の導入では、問題解決的な学習が重視され、生徒の興味関心を活かす教材であり、取り組みやすい内容である。
- 「話しあおう」「説明しよう」等の言語活動の充実を図ることができる場面設定が多くあり、思考力・判断力・表現力の育成につながる。
- 数学的な見方・考え方を必要に応じて、例題の中に「考え方」として示したり、キャラクターの吹き出しに示したりしている。また、学習の中で働かせる数学的な見方・考え方を各ページの下段に示していたり、巻末の章ごとの「学びのあしあと」にも各章で大切にしたい数学的な見方・考え方を示したりする等、数学的な見方・考え方に関わる記載が充実しており、体得できるような工夫がある。
- 巻末の「学びをいかそう」では、章ごとに日常生活や社会との関わり、他の教科と数学との関わりを感じたり、学習をさらに深めたりすることのできる題材で、詳しい解説もあり、数学のよさを感じながら主体的に学習が進められる工夫がある。

種目【 理科 】(大日本図書)

- 1時間で学習する内容の流れが詳しく示してあり、問題発見から始まり、観察、実験を行い、話し合い活動までの探究の過程が分かりやすく記載され、生徒が学習していく上で使いやすくなっている。
- 観察、実験を行う上での配慮事項が、理由とともに記載され、生徒の目に引くような表記となっている。そのため、生徒が観察、実験を安全にかつスムーズに行うことができ、基本的な技能を確実に身に付けることができるような工夫がなされている。
- 巻末の「行ってみよう！科学館・博物館」等、生徒に身近な存在である「いのちのたび博物館」や「エコタウン」、「八幡製鉄所の溶鉱炉」等が多く記載されており、シビックプライドを醸成するために興味関心を高められるような記述が充実している。

種目【 音楽(一般) 】(教育芸術社)

- 指導すべき事項が焦点化され、生徒の思考過程や心情に即し、系統的に題材が構成されている。活動のめあてや方法、言語活動の例やヒント及び工夫のポイントが示されており、生徒が主体的に学習に取り組むことができる。また、音楽的な見方・考え方を働かせるための授業構成がしやすく、話し合いの視点や表現の工夫の例が具体的に示してあり、深い学びにつなげることができる。
- 創作の活動においては、既習事項を生かし、段階的に、図や解説で丁寧に示されている。そのため、生徒が抵抗感なく取り組むことができ、教師が指導しやすい内容になっている。
- 楽器の写真や風景の写真も美しく、印刷が鮮明である。文字や楽譜がすっきりしていて見やすい。国語科や社会科等、他教科との関連を意識した内容や、生活と音楽をつなぐような資料が提示されている。

種目【 音楽(器楽合奏) 】(教育芸術社)

- 生徒が多様な音楽体験ができるように学習内容と教材が精選され、初歩的な内容から発展的な内容へと配列されている。
- 学習内容を系統立てて掲載し、音楽を形づくっている要素を明示した掲載があるため、教師が、音楽的な見方・考え方を働かせるための授業を構成しやすい。
- 技能の習得においては、段階的に、図や解説で丁寧に示されているため、生徒は抵抗感なく取り組むことができ、教師が指導しやすい内容となっている。

種目【 美術 】(光村図書出版)

- 全ての題材に鑑賞活動を設定し、表現中心の題材でも表現と鑑賞を一体的に学べる構成になっており、生徒が造形的な見方・考え方を働かせ、自分の思いを深めながら表現することができる。
- 中学生がどのような考えを経て表現活動をしているかが丁寧に紹介され、生徒の発達段階に合った制作過程が分かりやすく記載されており、主体的な表現活動が促されるよう配慮されている。
- 造形的な視点を基に日常生活におけるデザイン等の働きを見つめ直すことができるように配慮されており、社会の中の美術文化と豊かに関わることができる。

種目【 保健体育 】(学研教育みらい)

- SDGsに関する取扱いが充実しており、「現代社会が抱えるさまざまな問題に対応できる能力」を身に付けさせる工夫がある。
- 「課題をつかむ」→「考える・調べる」→「まとめる・深める」といった一連の学習の流れが明確で、主体的に思考・判断し、適切に振り返ることができる工夫がある。
- 「キーワードで見る保健体育の学習内容」では、学習内容をキーワードごとに再整理され、教科等横断的なカリキュラムマネジメントにつながる工夫がある。
- 各章の終わりの「もっと広げる・深める」や「探究しようよ」の活用により、授業内容を深化・発展させる内容となっている。さらに、各章のまとめでは、「振り返ろう」で、キーワードが再整理してあり、「確かめよう」「生かそう」で実生活の中でのさまざまな問題解決に生かせる工夫がある。

種目【 技術・家庭(技術分野) 】(開隆堂出版)

- 学習指導要領に示される「技術の最適化」についての記載がそれぞれ十分にされており、教師が生徒に対して「技術の最適化」についての思考や対話を促しやすく、若年教師にも技術分野の本質に迫る授業を行いやすくなっている。
- 各内容について最初のページに、小学校や他教科とのつながりを具体的な教科の単元や学年を記載し、関連付けてある。そのため、教師は小学校との関連や他教科の学習状況からどの内容をどの学年に位置付けるか、教育課程の編成を検討することができる。また、既習の内容を想起させることで、生徒が技術と他教科の授業を関連付けて学習を進めることができる。
- プログラミングについて巻末資料が「Scratch」や「ドリトル」等のプログラミング言語の基礎的な内容を理解しやすい言葉で編集されている。このため、本市小中学校で採用しているプログラミング言語についてそれぞれの学びを関連付けながら学習することができる。
- 本文では情報セキュリティ、情報モラルの2つの内容に分け、それぞれ4ページ、6ページの合計10ページで系統立ててまとめており、具体的な事例を基に話し合いを促すよう構成されている。「GIGAスクール構想」の実現に向け本市においても一人一台端末の整備に合わせてこれらの事項を学ぶことは必須であり、本書によって重点的に指導できる内容となっている。

種目【 技術・家庭（家庭分野） 】（ 東京書籍 ）

- 活動や実習例が充実しており（「幼児との触れ合い体験」「中高生が被災時にできたこと」「避難所や仮設住宅の暮らしをよりよくする工夫」等）、主体的に考え調べたり、友達と協働して検討したりする設定となっており、主体的・対話的で深い学びが実現できるようになっている。
- 手洗いの大切さと調理実習の事故防止及び安全と衛生について、写真付きで丁寧に記載されている。
- 「持続可能な食生活を目指して」では、カーボンフットプリント・マークやマヨネーズ容器の軽量化の取り組み等、身近な生活で実践されている例を取り扱っており、持続可能な社会の構築に向けて責任のある行動がとれる生活者の育成を目指すことができるような内容が随所にある。
- 個に応じた指導ができるように、自らの生活を振り返って課題を解決するための発問（調べよう、考えてみよう、やってみよう、生活に生かそう等）が随所に設定されている。

種目【 英語 】（ 光村図書出版 ）

- 本文が3年間を通じたストーリー仕立てになっており、生徒にとって日常的な目的・場面・状況の中でどのように英語を表現するのか、生徒が理解しやすいものとなっている。文法事項が、言語の使用場面と意味・形を結び付けながら、習得できるように整理されており、若年教師も、言語活動を通して英語力を育成する授業が行いやすくなっている。
- 単元ごとに「めあて」（扉のページ）、「Goal」（まとめの言語活動と振り返り）があり、単元ごとに自分の学びの成果を確認できるようになっており、生徒の学習に取り組む意識が高まるよう工夫されている。
- 小学校英語との接続単元が、活用場面を通して学習できるように設定されており、音と文字の関係も、はじめのページにまとめて掲載され、活動を通して楽しみながら学習できるようになっている。小学校での体験を踏まえ、「聞かせる」→「文字と一致させる」→「話した内容を書く」のような英語表現を活用して習得させる授業展開が行いやすい。
- QRコードを読み取れば、アニメーションのように動画を見ながら本文の音声を聞くことができ、場面や状況を理解し、楽しみながら学習できるよう工夫されている。

種目【 道徳 】（ 日本文教出版 ）

- 各教材の終わりの「考えてみよう」には、中心発問的な問いがある。また、その下の「自分に+1（プラスワン）」では、教師が生徒の思考や対話を促しやすく、若年教師にも「考え、議論する道徳」の授業展開が行いやすくなっている。
- 「学習の進め方」が各学年6教材ある。「1 問題をつかもう」のような表記があり、生徒の活動の様子を写真で示し、内容をイメージしやすくする等、「考え、議論する道徳」の授業を展開しやすくする工夫がある。
- 別冊「道徳ノート」により、生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に記録することができる。また、これにより教師は毎時間の授業にワークシートを作成しなくても授業を行うことができる。
- 別冊「道徳ノート」の全てのページに「友達の意見や話し合いから、新しい発見や気づきがあったか」「これから大切にしたいことがわかったか」等の自己評価欄もあり、1教材ごとに毎時間の授業を振り返ることができるようになっている。また、自己評価欄や授業実施日の記入欄があり、学習状況の評価や自己の成長への気づきにつながりやすい。